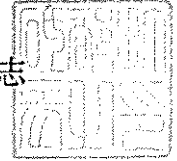


19 抵 建 第 48 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 殿

砥部町長 中 村 剛 志



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号をもって依頼のありました、標記の件について、別紙のとおり提出いたします。

【今後の道路政策や道路の整備・管理についての事項】

愛媛県伊予郡砥部町

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

○ネットワークがつながっていない高速道路の整備

四国の高速道路（8の字ネットワーク）が連結されていない為、本来の機能を発揮していない。地域間格差をなくし、四国の活性化や自立には必要不可欠な社会資本であると考えている。

○大雨・大雪や地震などの災害、重大事故などの備え

国道クラスの道路で、異常気象により通行規制を度々受けるため、高規格道路（国道33号）等の災害に強い整備が必要である。地方の道路網（幹線道路の整備）はまだまだ脆弱であると考えている。

○通勤、通院などの日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備

通勤・通学・日常の買い物などで使っている道路が毎日渋滞している状況である。この渋滞対策を出来ることから優先して進めることで、多くの住民は整備が進んでいると感じていただけると考えている。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

○個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底する

地域の中で優先度の高い事業を明確にし、短期間で事業を完成することが経費節減にもつながり、住民からの事業評価が受けられると思われる。

○現在ある道路をもっと有効に利用する

多くの道路施設を持っていても、利用する人が少なければ、維持費を投入する意味が無い。多くの人に利用していただいたことにより、必要な適正管理費用は無駄にはならないと考えている。

○沿道の住民やNPOなど道路の管理にもっと参画できる取り組みを行う

ボランティア・サポート・プログラム(愛ロード)制度を地域住民に周知して参画していただき、地域住民で出来ることはしていただきたいと考えている。道路はみんなの毎日利用する財産であると、多くの人認識すればマナーは格段に向上すると考えている。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

○愛媛県全体で道路整備は着実に進んでいると感じていますが、私どもの砥部町では大量輸送交通機関がないため、道路整備に対するニーズは非常に高い状況であります。それは、生活に身近な道路を中心に整備が遅れているからです。

そんな中、道路特定財源制度の見直しに関する具体策が閣議決定され、整備が遅れている生活道路が、更に遅れるのではないかと懸念をしています。

今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画作成するに当たり、地域の特性を十分認識し、それぞれの地域に配慮ができる計画にさせていただきますようお願い申し上げます。